

## 大学の都市計画教育と地理総合の将来 —大学が高校に協力する意味—

弘前大学大学院地域社会研究科長  
教育学部教授  
北原啓司

1

## 1. 今日の私の立場

都市計画研究者であり、教育の立場にもある  
25年前に、工学部から教育学部に転身  
小・中・高の授業にも関わることが多い  
かつては家庭科の専門家出前授業  
10数年前から総合的学習のお手伝い

菊池雅彦さんからのオファー  
大学がどう協力できるか



自分なりに考えてみる  
これまで感じてきた一種の違和感  
それを乗り越えてこそ、地理総合の将来に  
我々が関わる意味がある

2

## 2. 都市計画教育と地理学

大島英幹さんがこう指摘されていた  
地理学は、課題発見志向  
都市計画は、課題解決志向

そういえば、弘前で都市社会学会があった時  
奥田道大先生がこう言われた

「都市計画や建築の方々はいいですね。  
自分たちが計画したものが正しいと考えて  
進めていっちゃる。我々社会学では、課題を  
明らかにすることはできても、とてもその解決  
のための方策を導き出すことはできません」  
『我々はけして自己満足じゃありません』(S先生)  
「いえいえ、社会学者のジェラシーだと・・・」

3

大島英幹さんは面白い指摘をされていた

- 地理学は、生活圏の  
地理的な課題全般の「かかりつけ医」
- 都市計画学は、  
まちづくりを実行する「執刀医」

とは言え、計画学の立場から言うと  
我々は執刀する前に、しっかりインフォームド  
コンセントを実施しなければならないし、予防  
医学の立場も必要であると感じている  
なんでもかんでも切りたがってはいない  
ここ8年は救急病院の医師だった  
やっと予防医学が登場＝事前復興

4

大島英幹さんはこうも言っておられた

ただし、現状では、両者の間に「紹介状」のやりとりはない

私がこの25年間、やや違和感を抱いた原因はそこにあった気がする

病巣をはっきりさせる人とそれを治す人？  
その間に必要なのは「紹介状」だけか！？

地理学と都市計画学の協働は  
いったいどこを目指せばいいのか

5

寺本潔氏(玉川大学)との協働を思い出す

愛知県西尾市立西尾小学校

全国に先駆けて総合的な学習を先取り  
寺脇研さんもお呼びして全国的なシンポ

そこに誘っていただいた寺本さんの一言

「僕たち地理は、町学習をするんですよ。

北原さんたちは、まちづくり学習ですから

僕たちにはできないんです。手伝って下さい」

だから私は西尾小学校を何度か訪ねる

教育学部の学生・院生も同行

地理学と建築学(都市計画)で授業をつくる

英国のまちワーク<withアリーン・アダムス>

小澤紀美子、木下勇、寺本潔、北原ほか

6

## ★西尾小学校の「まち学習」

PTCAによる総合的学習の推進



7



8



9



10

3年生・・・まちで人をいっぱい見つけてくる  
「まちの先生」

4年生・・・西尾の特徴的な仕事を探ってくる  
「お茶の街の和菓子屋さん」

5年生・・・僕たちの街の改造計画

6年生・・・小学校のすぐそばの蔵を活用しよう  
地域住民とワークショップ

授業を進めていた教師たち(社会科研究会)が  
最も楽しんでいたので印象的

高大連携でも、そんな場面を見たい

11

### 3. 発見をどう学んでいくのか

大島英幹さんの興味深い指摘に戻ります

地理学の知見は、生活圏の課題の宝庫  
都市計画学は、地理学から生活圏の課題を  
「仕入れる」ことができる  
都市計画学も自前で生活圏の課題を発見していて  
「二重行政」になっている。

僕は、学生たちに、計画学における発見の必要性を  
常々教えています(すみません)

僕の出身を早稲田だと勘違いする人がいるんですが  
学生時代に影響を受けたのは発見的方法です

12

## ★建築の世界で流行したデザインサーヴェイ

地域のデザイン・ポキャブラリーを再評価する

「風の人」が「土の人」を覚醒させる

私が最も感動した

外泊(愛媛県愛南町)の海賊窓



13

## ★北側の石垣の中から見える、小さな光の正体

○石垣の向こうでは

「うちの父ちゃんと息子が今日も帰ってくる」



「おいしいものを食べさせてあげなきゃ・・・」

○海の上では

「お、かあちゃん、なにつくってんのかなあ」



「いま帰るから、ちょっと待ってろよ」

⇒建築家なしの建築

⇒ヴァナキュラーなデザイン

15

## 「まち」に関わる子どもたちの学習の取り組み

①教える側があらかじめ地域資源を調べておく  
一種の社会見学→作文、絵、理解度で評価  
「〇〇をどんなふうに見てきたか」  
地理学的手法

②発見的方法  
地域を児童たちに自由に歩いてもらい、  
そこで生まれる発見そのものに重きをおき、  
それを教師と児童が共に受け止め、学習する  
考現学(今和次郎:弘前の人)

「先生、それって行き当たりばったりですね」

16

## ★地域の文脈(コンテキスト)を丁寧に分析するスタンス

○前者・・地域特性が共通認識として既に存在  
それを深く調べいくところに学習の目標

○後者・・何が出てくるかわからないという不安  
発見の喜びや意外性

### 「まち学習」

学習者が「まちづくり」に直接関わる必要はない  
周辺の地域人が成果を「まちづくり」に活かす

→「まちづくり」につながる可能性

→「生きる力」を習得する総合的な学習

→20年後に効いてくるボディーブロー

17

## 4. 話題を高校の地理総合に戻します

大学ができることはたくさんある  
ついー昨日も弘前中央高校に行ってきました  
とは言え、総合的な学習の時間

令和元年度2学年総合的な学習の時間  
「テーマ探究」発表会  
11/5訂正版

1 目的 2年生が「総合的な学習の時間」で取り組んできた「テーマ探究」についての発表を行い、生徒あるいは大学生に疑問に思ったことについて問い出しをしてもらい、その問い出しを参考にして各自の学びをさらに深め、3年時の課題研究につなげる。

2 実施日 令和元年 11月 7日(木) 6・7校時

3 対象 本校2学年生徒

4 場所 本校中央棟2階各教室、セミナー1・2、セミナー3・4、多目的教室

5 日程  
14:15～ 各教室のセッティング  
14:25～ 発表者準備  
14:30～ 「テーマ探究」発表  
(1) 2学年全生徒がKIP法(紙芝居プレゼンテーション法)により発表  
(2) 一人あたりの時間13分(発表5分、問い出し7分、準備1分)  
(3) この発表を6回繰り返す(指定された班・場所で開催する)  
15:48～ 発表会終了後、発表した教室を復元し、自分の教室に戻る  
15:55～ 問い出しされたことを振り返り、活動記録用紙記入

18



健康	睡眠を倒す方法	睡眠の関連した知識をこれを見つかわつてほしい。ゴールデンタイム、7時間睡眠、などはよく聞かれているが、自分の身体にあった睡眠時間と睡眠を助ける良いパフォーマンスをだす方法について考えてみたい。
健康	心理学と性格	人の性格の形成のされ方について探求しました。そして、いろいろな性格の人との付き合い方について考えてみました。よりよい人間関係を築くポイントを紹介します。
教育	人格の形成について	喜怒哀楽の激しい人、話し出すと止まらない人、授業中に騒いでしまう人、世の中にはいろいろな性格の人がいるが、その性格は生まれてからどのように形成されていくのか。
教育	少年犯罪の気持ち	少年院に入るような少年達が罪を犯す理由や背景を解明し、障害をもつ子供たちへの学校、家庭、地域、社会における支援にはどんな問題があるのか? 支援をよりよくするためには?
芸術	3DCGの今とこれから	どんどん進化していく3DCGはこれからどのように変わっていくのかを日本の問題点を見ながら考える。日本の技術は世界と比べるとどのくらいなのか、需要は増えていくのかを調べました。
経済	タビるは儲ける	近年SNSによる力で経済が変化してきている。今回はSNS(主にインターネット、Twitter)による経済変化を「タビオカ」に焦点を当てて調査した。
経済	人口減少と地方活性化	私は人口減少と地方活性化について、青森県と関係の深い教授の書籍や論文を参考に、人口減少と地方活性化の現状と解決策を考えてみました。
経済	未然犯罪プログラム	テレビドラマでよく目にする未然犯罪プログラム。その実体とは何なのか。このプログラムの現状とこれから必要なことについての考察。
文学	社会と文学	私は社会と文学の関係性について調べました。その時代とその時代に書かれた本との結びつき、逆に世の中に大きな影響を与えた本など、社会と文学作品に関係性はあるのか、どんな関係性があるのか調べました。
グローバル	人種差別	グローバル化が進む世界で人種差別をなくするためにはなにができるかを外国人のインタビューから考え発信する。
生活・食	防犯について	日本では毎日様々な犯罪が起きており、それを防ぐ方法などを、物理的、精神的に分けました。また犯罪の起きやすい条件などもまとめました。
自然科学	河川の水質と飲料水	日本と世界の河川と水道水の水質の関係性をグラフや資料などから比較して、世界での水道水や浄水場の問題点を考える。
その他	時代に合ったレスキュー	得るべきだと考えている特別救助隊(レスキュー隊)について、この職業があることによる社会に対するメリットとデメリットやレスキュー隊の概要などを幅広く説明する。
その他	魚	魚の特徴や行動パターン、スレについて調べ魚種の違いによってどのような生態の違いがあるのかを調べる。また、魚の飼育方法や飼育環境の改善方法などについて調べたい。

#### 4. 科学する力と計画する力の融合

##### ★総合的な学習の時間とは

- 各学校の創意工夫を活かした横断的・総合的な学習や 児童生徒の興味・関心等に基づく学習などを通じて、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる
- 情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方等の学び方やものの考え方を身につける
- 問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育成する
- 自己の生き方についての自覚を深める  
生きる力

21

- 大学生が高校の地理総合を活かす可能性は大きい  
建築系の学生が陥ってしまう芸術気質  
ロジックよりはフィーリング  
高校生の真摯な学習態度が自分に問いかけてくる  
我々は現実をどう把握して、そこから計画に向かって  
いるのか  
科学することを放棄していないか  
それをセンスでカバーできると勘違いしていないか
- 高校生が我々との協働事業を活かせる可能性も大きい  
本やwebで調べたこと以上に、現実を見ることの意味  
課題を知った後に、それを解決しようという動機づけ  
地理総合になって、総合的な学習の本質が薄まってい  
かないか・・・単なる知識の習得ではないはず  
弘前の高校生たちが真剣に感謝してくれた

22

我々、研究者や専門家は勘違いしてはいけない  
この内容であれば、我々は貢献しなきゃ・・・  
高校生を教えるのは我々の仕事ではない  
探検に出かける生徒たちの懐中電灯になってみたい

羅針盤ではないんです

さあ、よく目を見開いて、歩いて行ってごらん  
都市は歩いただけ、物語が生まれる  
物語が生まれにくい都市もあるかもしれない  
何故、物語がうまれないんだろう  
一緒に考えてみようか  
大学の先輩たちも一緒に歩いていいかな

先生は、教える人ではなく先に生まれた人  
先に学んでいる人は、後に続く人たちに学ぶ姿を  
見せ続ける必要がある

23